

3 - 22 東京都府中市におけるラドン濃度の連続観測結果 (1984年11月～1985年4月)

The Results on Continuous Observation of Radon Concentration at Fuchu City, Tokyo
(November, 1984 - April, 1985)

国立防災科学技術センター
National Research Center for Disaster Prevention

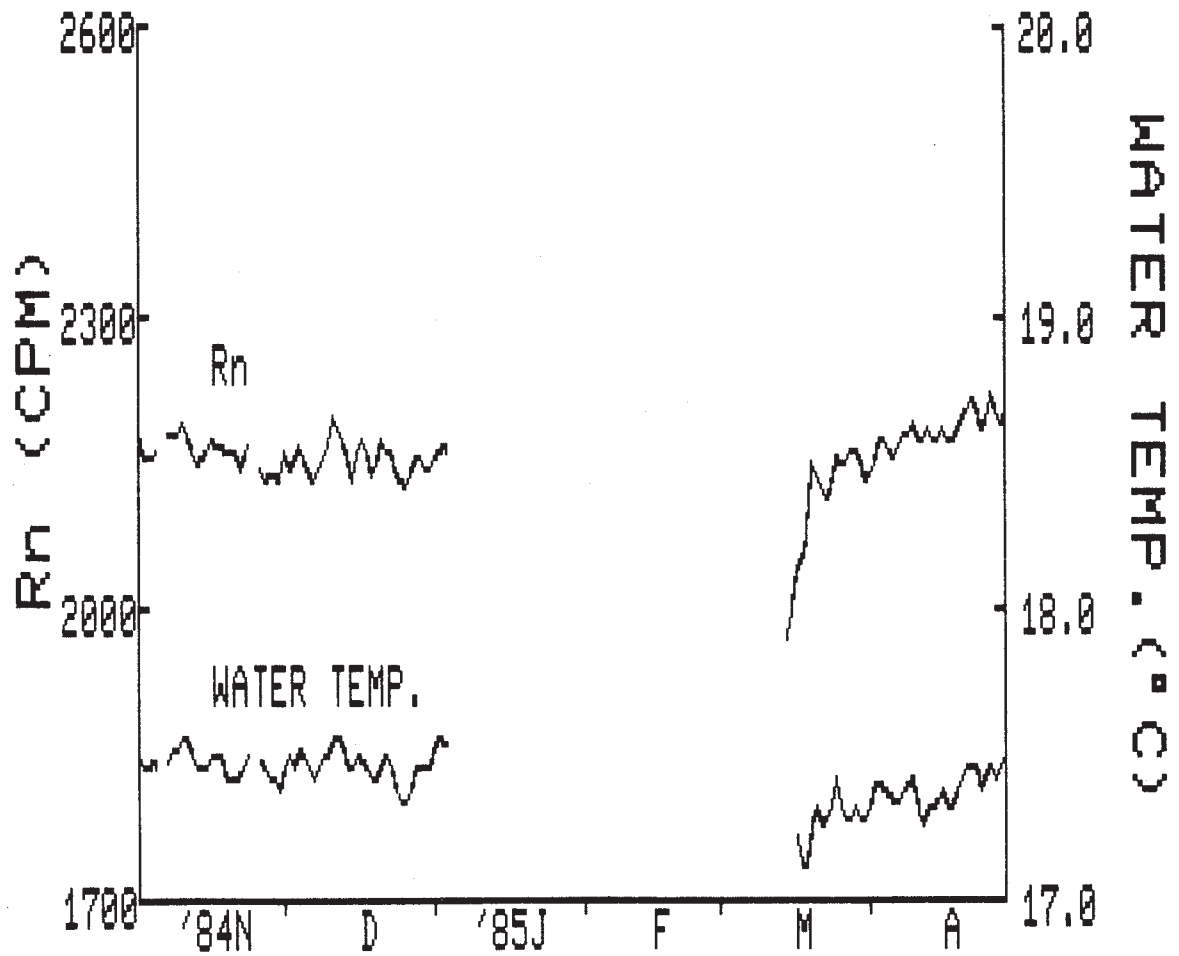
前回の報告¹⁾に続き、東京都府中市の深度60mの観測井における地下水中のラドン濃度の連続観測結果を報告する。

連続観測されたラドン濃度、ラドンモニター内での水温の記録を第1図に示した。ラドン濃度、水温とも2時間毎の記録を日平均値にしたものである。以下に観測結果を要約する。

- 1) 1985年1月上旬から3月中旬の欠測は配管系の修理によるものである。修理完了後、ラドン濃度が元の値に回復するのに約1週間を要した。
- 2) ラドン濃度、水温とも短周期の変化が見られる。
- 3) これまでの観測から、ラドン濃度は揚水量変化に大きく影響されることが確認された。このため1984年10月下旬に定流量制御装置を設置し、揚水量を毎分6リットルに制御している。11月以降は揚水量の変化の影響をうけない記録が得られている。(吉田則夫)

参 考 文 献

- 1) 吉田則夫：東京都府中市におけるラドン濃度の連続観測結果（1980年4月～1984年10月）—山梨県東部地震（1983年8月8日）前のラドン濃度異常—，連絡会報，**33**（1985），180 - 183.



第1図 東京都府中市における地下水中のラドン濃度と水温の変化

Fig. 1 Temporal variations in the radon concentration and temperature of groundwater at Fuchu city, Tokyo.